

【オリコンサルグローバルJV マニラ首都圏 地下鉄事業（フェーズ1）で起工式  
入札支援、施工管理など担当】

マニラ  
首都圏 **地下鉄事業（フェーズ1）で起工式**

オリコンサルグローバルJV

**入札支援、施工管理など担当**

オリエンタルコンサル  
タンググローバルを代表  
とする6社JVが入札支  
援、施工管理等のコンサ  
ルト業務を受注して

いる「マニラ首都圏地下  
鉄事業（フェーズ1）」の  
起工式が2月27日、フィ

リピン国マニラ首都圏北  
部のヴァレンズエラで執  
り行われた。

式典には、ミディアルデ  
ア大統領府秘書官、ツガデ  
運輸通信大臣、ビリヤール  
公共事業道路大臣、羽田浩  
二在フィリピン特命全権  
大使、和田義郎国際協力機  
構（JICA）フィリピン  
事務所長他、多数の要人が  
出席した。

フィリピンのマニラ首  
都圏では、人口増加に伴  
い交通渋滞が深刻化し、



起工式の様子

同国の国際競争力低下の  
要因となっている。同事  
業は、マニラ首都圏にお  
ける大規模公共交通網の  
南北軸として、北部ケソ  
ン市と南部パラニヤケ市  
を結ぶ、フィリピンで初  
となる地下鉄（地下15駅、  
延長約25キロ）を整備する  
もの。同事業に対する円  
借款には本邦技術活用条

件（STEP）が適用さ  
れ、地下トンネル掘削、狭  
隘な部分での施工、信号  
システム、車両等に日本  
の技術が活用される予定  
となっている。

オリエンタルコンサル  
タンググローバルを代表  
とする6社JVで、昨年  
11月21日にフィリピン運  
輸省から、同事業の入札  
支援、施工管理等のコンサ  
ルト業務を受注し  
ている。情報収集・確認調  
査、準備調査、詳細設計に  
続く受注となっている。  
先行工区（3駅および車  
両基地）は22年、残り工区  
（12駅）は25年の供用開始  
を予定している。